

施策評価シート

施策等名称	公民館の充実	体系番号	0201020101
		主管課	生涯学習課(中央公民館)

1 施策基本情報

現状と課題	中央公民館は、住民の生涯学習推進の中核を担う施設として様々な学習の機会と場を提供しています。利用者数は、ここ5年間程はほぼ横ばいで推移しています。事業として、各種講座、音楽祭、芸能祭、芸術祭、野排球大会等を開催していますが、若者の参加減少、社会教育関係団体等の高齢化などの課題があります。施設及び機器については老朽化による修繕等が増えている現状です。早めの対応に努めていますが突発的な不具合発生も多い状況です。 地区CCは地区公民館(地区館)として位置付けられ、地区館と本館、分館(自治公民館)と地区館の連携により地域での公民館活動を推進しています。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	「いつでも」「どこでも」「だれでも」学べる環境づくりを目指して、各種講座等多様な学習活動を支援しながら、人々の交流を通じての人づくり、地域づくりを目指して公民館活動を展開する。

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時 (平成29年度値)	2022年度目標値	
				2022年度目標値	2027年度目標値
①	公民館利用者数	中央公民館利用人数(人) ※ロビー展・芸術祭等の不特定来館者数は未把握のため含まず。出前講座人員含まず。	45,353	48,000	50,000
②	公民館講座満足度	講座終了時アンケートによる満足者数/アンケート回答者数(%) ※平成29年度途中から集計開始のため実績値なし	-	100	100
③	地区公民館事業	10地区公民館で開催された講座及び事業の数(件)	53	56	60

施策の柱1	名称	公民館の運営と機能の充実	主管課	生涯学習課(中央公民館)				
	詳細	生涯学習の場であり、出会い・つながる場・成果発表の場である中央公民館を、生涯学習の推進を図っていく中心的・中核的な施設として位置づけ、事業の推進を図ります。また、住民の自主的・主体的な活動拠点としてグループ活動の支援を進めます。施設の老朽化を踏まえ、安心安全に気持ちよく使用できるよう維持・管理・修繕等を行っていきます。						
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分		
	1	公民館利用者数	中央公民館利用人員数(人) ※ロビー展・芸術祭等の不特定来館者数は未把握のため含まず。出前講座人員含まず。	45,353	48,000	1	公民館運営事業	実施
					50,000	2	中央公民館施設管理事業	実施
	2					3		
	3					4		
						5		
						6		
	基本政策間連携							

施策の体系	名称	中央公民館活動事業の充実と連携		主管課	生涯学習課(中央公民館)			
		詳細						
	多様化する住民ニーズを的確に捉え、各種講座や事業等を計画的に推進するとともに、住民による主体的な活動が生まれる環境づくりを進めます。							
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分		
	1	公民館講座満足度	講座終了時アンケートによる満足者数/アンケート回答者数(%) ※施策指標②記載と同じ	-	100.00	1	公民館講座事業	実施
					100.00	2	高齢者大学事業	実施
	2	音楽祭・芸能祭参加団体数	(団体)	56	58	3	公民館人権教育事業	実施
					60	4	公民館報発行事業	実施
	3	芸術祭(作品展示)出品点数	(点)	810	900	5	芸術祭等開催事業	実施
					1000	6		
基本政策間連携								

施策の柱3	名称	地区公民館・分館事業の充実と連携	主管課	生涯学習課(中央公民館)				
	詳細	地区公民館と中央公民館、分館と地区公民館の連携を一層強め、地域での公民館活動の推進と学習活動の成果が地域づくりの実践に結びつくよう支援します。						
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分		
	1	地区公民館講座及び事業数	10地区公民館で開催された講座及び事業の数(件)	53	56	1	地区公民館事業	実施
					60	2	分館活動促進事業	実施
	2	分館実施事業数	80分館で実施された事業の数(件)	579	570	3		
					580	4		
	3					5		
						6		
	基本政策間連携							

施策等名称	公民館の充実	体系番号	0201020101				
		主管課	生涯学習課(中央公民館)				

## 2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
<b>施策</b>	公民館利用者数	45,353	49,612	43,703	27,539	23,881	31,376
1		48,000	103.36	91.05	57.37	49.75	65.37
変動要因等	2018年度	平成21年度以降横ばい傾向であったが、平成30年度は団体利用増等により大きく増加。利用団体の高齢化、固定化が課題であるが、活動拠点施設としてのニーズは一定してある。					
	2019年度	年度末から新型コロナウイルス感染症の影響により、貸館事業及び主催事業の多くが延期・中止となり利用者数の伸びがなかった。この影響は翌年度も続くと考えられる。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染防止対策として、4月4日午後～5月17日を完全休館、5月18日～31日まで貸館事業を自粛した他、感染状況によって主催講座等を中止をしたことから、利用者が減少したと考えられる。					
	2021年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止対応として、感染警戒レベルにより、定員・活動内容等の制限を行った。また、災害及びコロナ対策により9月に休館したことなどにより、昨年度に続き利用者数の減となった。					
	2022年度	新型コロナウイルス感染症対策を行い、貸館制限を緩和して、開館することができた。そのため、前年度比では利用者数が増加したが、団体活動の自粛も続いており、コロナ前の水準には戻っていない。					
<b>施策</b>	公民館講座満足度	-	96.00	94.40	95.56	95.59	95.65
2		100.00	96.00	94.40	95.56	95.59	95.65
変動要因等	2018年度	講座については高い満足度となっている。比較的若い世代の参加が少ない。若者対象通年講座は来年度見直しとする。					
	2019年度	講座については高い満足度となっている。比較的若い世代の参加が少ない。若者対象講座は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったが、出席予定者は少なかった。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した講座もあったが、開催講座については高い満足度となっている。若者対象通年講座は参加が少なかったため単発の講座とし、申込初日の受付時間を昼休みにする・講座を夜にするなどした。今後も工夫したい。					
	2021年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した講座もあったが、開催講座については高い満足度となっている。夏休みのこども対象講座、夜間の講座等も実施した。申込初日の受付時間を昼休みにするなどした。コロナ禍でも工夫して実施した。					
	2022年度	コロナ禍でも、対策を講じながら活動していく方針で、感染対策を取りながら前年度より多くの講座を実施できた(中止2講座)が、定員は少なくなっている。開催講座については高い満足度となっている。館報に加え、ネット、新聞記事も活用し参加者募集を行った。					
<b>施策</b>	地区公民館事業	53	50	40	8	1	19
3		56	89.29	71.43	14.29	1.79	33.93
変動要因等	2018年度	地区事業は37件。分委会による住民参加事業として継続実施を支援していく。地区講座開催は13件。開催は地区によりばらつきがある。他地区事例等により未実施地区を減らしていく。					
	2019年度	地区事業は29件。分委会による住民参加事業として継続実施を支援していく。地区講座開催は11件。開催は地区によりばらつきがある。今年度は新型コロナウイルス感染予防のため中止したものがあり実施数が減少した。					
	2020年度	今年度は新型コロナウイルス感染防止対策としてほとんどの事業を中止した。地区事業は3件(当初予定48件)。今後も感染状況を見ながら分委会による住民参加事業として継続実施を支援していく。地区講座開催は5件。					
	2021年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、地区事業の実施が消極的になり、ほとんどの事業が中止となった。地区事業は1件(当初予定32件)。地区講座開催は0件。					
	2022年度	地区事業は7件(当初予定30件)。地区講座開催は12件。コロナ禍で地区事業の実施が難しい状況が続いているが、感染対策及び内容の工夫等により、前年度よりは事業を実施することができた。					
<b>柱1</b>	公民館利用者数	45,353	49,612	43,703	27,539	23,881	31,376
1		48,000	103.36	91.05	57.37	49.75	65.37
変動要因等	2018年度	平成21年度以降横ばい傾向であったが、平成30年度は団体利用増等により大きく増加。利用団体の高齢化、固定化が課題であるが、活動拠点施設としてのニーズは一定してある。					
	2019年度	年度末から新型コロナウイルス感染症の影響により、貸館事業及び主催事業の多くが延期・中止となり利用者数の伸びがなかった。この影響は翌年度も続くと考えられる。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染防止対策として、4月4日午後～5月17日を完全休館、5月18日～31日まで貸館事業を自粛した他、感染状況によって主催講座等を中止をしたことから、利用者が減少したと考えられる。					
	2021年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止対応として、感染警戒レベルにより、定員・活動内容等の制限を行った。また、災害及びコロナ対策により9月に休館したことなどにより、昨年度に続き利用者数の減となった。					
	2022年度	新型コロナウイルス感染症対策を行い、貸館制限を緩和して、開館することができた。そのため、前年度比では利用者数が増加したが、団体活動の自粛も続いており、コロナ前の水準には戻っていない。					
<b>柱2</b>	公民館講座満足度	-	96.00	94.40	95.56	95.59	95.65
1		100.00	96.00	94.40	95.56	95.59	95.65
変動要因等	2018年度	開催講座については高い満足度となっている。比較的若い世代の参加が少ない。若者対象通年講座は来年度見直しとする。					
	2019年度	講座については高い満足度となっている。比較的若い世代の参加が少ない。若者対象講座は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったが、出席予定者は少なかった。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した講座もあったが、開催講座については高い満足度となっている。若者対象通年講座は参加が少なかったため単発の講座とし、申込初日の受付時間を昼休みにする・講座を夜にするなどした。今後も工夫したい。					
	2021年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した講座もあったが、開催講座については高い満足度となっている。夏休みのこども対象講座、夜間の講座等も実施した。申込初日の受付時間を昼休みにするなどした。コロナ禍でも工夫して実施した。					
	2022年度	コロナ禍でも、対策を講じながら活動していく方針で、感染対策を取りながら前年度より多くの講座を実施できた(中止2講座)が、定員は少なくなっている。開催講座については高い満足度となっている。館報に加え、ネット、新聞記事も活用し参加者募集を行った。					
<b>柱2</b>	音楽祭・芸能祭参加団体数	56	53	55	-	-	30
2		58	91.38	94.83	-	-	51.72
変動要因等	2018年度	直近5年間でみて参加団体数はほぼ横ばいで推移。市民活動における発表の場として定着している。市民自らによる運営を支援。					
	2019年度	直近5年間でみて参加団体数はほぼ横ばいで推移。市民活動における発表の場として定着している。市民自らによる運営を支援。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。					
	2021年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。					
	2022年度	一定時間ごとに会場内の換気、消毒を実施する等、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら3年ぶりに開催することができた。しかし、活動を自粛している団体もあり、参加団体数は減少となった。					

施策等名称	公民館の充実	体系番号	0201020101
		所管課	生涯学習課(中央公民館)

No.	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
柱2 3	芸術祭(作品展示)出品点数	810	750	740	-	334	380
		900	83.33	82.22	-	37.11	42.22
変動要因等	2018年度	高齢化等による団体の解散により出品数は減少傾向。個人出品呼びかけとともに芸術祭自体の運営を見直していく。					
	2019年度	高齢化等による団体の解散により出品数は減少傾向。個人出品呼びかけとともに芸術祭自体の運営を見直していく。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。					
	2021年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、作品の搬入・搬出を工夫し、2年ぶりに作品展示を実施できた。飲食・体験コーナーが設置できなかったことで来場者はコロナ以前よりも減少となった。					
	2022年度	昨年度同様、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、作品の搬入・搬出を工夫しながら実施し、前年度比出品点数は増加した。飲食・体験コーナーが設置できなかったことで来場者はコロナ以前に比べて減少となった。					
柱3 1	地区公民館講座及び事業数	53	50	40	8	1	19
		56	89.29	71.43	14.29	1.79	33.93
変動要因等	2018年度	地区事業は37件。分主会による住民参加事業として継続実施を支援していく。地区講座開催は13件。開催は地区によりばらつきがある。他地区事例等により未実施地区を減らしていく。					
	2019年度	地区講座11件開催(12件予定したが新型コロナの影響により1件中止)。地区事業29件実施(35件予定したが新型コロナの影響により6件中止)。					
	2020年度	今年度は新型コロナウイルス感染防止対策としてほとんどの事業を中止した。地区事業は3件(当初予定48件)。今後も感染状況を見ながら分主会による住民参加事業として継続実施を支援していく。地区講座開催は5件。					
	2021年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、地区事業の実施が消極的になり、ほとんどの事業が中止となった。地区事業は1件(当初予定32件)。地区講座開催は0件。					
	2022年度	地区事業は7件(当初予定30件)。地区講座開催は12件。コロナ禍で地区事業の実施が難しい状況が続いているが、感染対策及び内容の工夫等により、前年度よりは事業を実施することができた。					
柱3 2	分館実施事業数	579	564	555	88	95	121
		580	97.24	95.69	15.17	16.38	20.86
変動要因等	2018年度	分館事業数は若干減少したがほぼ横ばい。分館活動推進のため、市は事業交付金により支援していく。					
	2019年度	分館事業数は若干減少したがほぼ横ばい。分館活動推進のため、市は事業交付金により支援していく。					
	2020年度	今年度は新型コロナウイルス感染防止対策としてほとんどの事業を中止した。分館活動推進のため、市は事業交付金により支援していく。					
	2021年度	コロナ禍の中、各区で分館事業がなかなか実施できない状況が続いているが、工夫して事業が実施できた事例も見られた。市は事例の紹介、事業交付金等により支援を行っていく。					
	2022年度	コロナ禍の中、各区で分館事業がなかなか実施できない状況が続いているが、感染対策及び内容の工夫等により、前年度よりは事業を実施することができた。					

施策等名称	公民館の充実	体系番号	0201020101			
		主管課	生涯学習課(中央公民館)			

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目		2018年(前年度比)		2019年(前年度比)		2020年(前年度比)		2021年(前年度比)		2022年(前年度比)	
投資額	事業費(円)	49,640,382		46,740,895	0.94	31,582,976	0.68	32,066,672	1.02	37,191,175	1.16
	うち一財(円)	48,728,916		45,875,816	0.94	31,092,117	0.68	31,001,425	1.00	36,007,124	1.16
	増減理由(一般財源前年度比±10%以上の場合に記載)					新型コロナウイルス感染症防止のため、高齢者大学、市民芸術祭(音楽祭・芸能祭・作品展)を中止したことによる減				コロナ禍でも、対策を講じながら活動していく方針で、前年度より多くの事業を実施したことによる増	
進捗評価		おおむね順調		おおむね順調		やや遅れている		おおむね順調		おおむね順調	
総合評価	主な取組内容や成果	中央公民館名称変更年として例年事業に加えての事業を実施した。講座においては高い満足度をいただいている。また、施設の工事・修繕等も予算内で出来る限りの対応をした。年間利用者数も増加した。地区公民館、分館支援により地域づくりに寄与。		例年開催している講座については新型コロナウイルス発生以前まで順調に実施できていた。施設の工事・修繕も予定通り実施し、緊急対応箇所も予算内で出来る限りの対応ができた。年間利用者が減となった理由は新型コロナウイルス予防対策による講座の中止が原因と考えられる。		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため例年開催していた事業を中止した。講座については参加人数を減らして実施できたものもあった。施設は工事の予定はなく、緊急対応箇所も予算内で出来る限りの対応ができた。休館や貸館自粛、講座の中止により年間利用者が減となった。		中止した事業もあったが、芸術祭作品展を実施するなど、コロナ禍でも工夫して事業を進めた。地区事業については、停滞をしまっている。施設修繕は緊急対応箇所も予算内で行える限りの対応ができた。休館や使用制限等により年間利用者が昨年度に続き減少となった。		(R4評価)コロナ禍でも、対策を講じながら活動していく方針で、講座に加え3年ぶりにホールでの発表等の事業を実施することができた。(総括評価)コロナの影響により、事業に大きな打撃を受け、回復基調にはあるが、計画開始時の状況には戻っていない。	
	課題	建物及び設備の老朽化。使用団体の高齢化により解散団体が増えている。芸術祭関係事業への参加団体の固定化。講座受講者において、男性及び40歳以下の参加者が少ない。		建物及び設備の老朽化。使用団体が高齢化している他、若年層の団体については短期での解散があった。芸術祭関係事業への参加団体の固定化。講座受講者において、男性及び青少年層の参加が少ない。		建物及び設備の老朽化。使用団体が高齢化し会員が減少している他、新型コロナウイルスにより活動を自粛し、そのまま解散に至る団体があった。講座や事業については、十分に新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をして実施をする必要がある。		建物及び設備の老朽化。使用団体が高齢化し会員が減少している他、新型コロナウイルスにより活動を自粛し、そのまま解散に至る団体も出ている。Withコロナの観点で、事業について感染対策を行いながら、オンライン等も活用し、できる限り実施をしていく。		(R4・総括評価共通)活動拠点としての建物及び設備の老朽化。使用団体が高齢化し会員が減少している他、コロナの影響で、活動を自粛し、そのまま解散に至る団体も出ている。一度縮小してしまった公民館活動を、できる限りコロナ前の水準に戻していく必要がある。	
改革・改善	改革・改善内容	施設関係は、予防修繕を基本として長寿命化を図る。要望の多い冷房設置検討。講座関係は、アンケート等を活用してより内容を充実させていく。若者関係は講座メニューの検討とともに短期講座に変更しより参加しやすくする。芸術祭は、芸文協との協力のもと芸術祭催し等の見直しを図る。		施設関係は、予防修繕を基本として長寿命化を図る。要望の多い冷房設備は工事ではなく簡易的なもので対応できるか検討する。新型コロナウイルス感染症防止のため今後は「新しい生活様式」に沿った公民館活動が行えるよう講座メニューや開催方法等を検討する。		施設関係は、予防修繕を基本として長寿命化を図る。要望の多い冷房設備は工事ではなく移動式など簡易的なもので対応できるか検討する。公民館活動は新型コロナウイルスの感染状況により、感染拡大防止対策を十分に行える講座内容や募集人数であるかを検討して実施する。		施設関係は、予防修繕を基本として長寿命化を図る。要望の多い冷房設備は借用した移動式で対応できるか試してみる。公民館活動はコロナ禍でも、感染拡大防止対策を取りながら、できる限り実施する方向で検討をしていく。		(R4・総括評価共通)施設関係は、予防修繕を基本として長寿命化を図る。活動団体支援も含め公民館活動についてコロナ前の水準に戻すことを目指して、オンラインの活用等も含め、やり方などを改めて考えながら検討して実施していく。他部署と共に組織体制の見直しを検討。	
	重点化する施策の柱	2		2		2		2		2	
	重点事務事業	1		1		1		1		1	
理由	講座をきっかけとして公民館利用者を増やす。また、継続的な学習への発展、自主的な学習グループ等への支援により生涯学習の振興を図る。		講座をきっかけとして公民館利用者を増やす。また、継続的な学習への発展、自主的な学習グループ等への支援により生涯学習の振興を図る。		講座をきっかけとして公民館利用者を増やす。また、継続的な学習への発展、自主的な学習グループ等への支援により生涯学習の振興を図る。		講座をきっかけとして公民館利用者を増やす。また、継続的な学習への発展、自主的な学習グループ等への支援により生涯学習の振興を図る。		講座をきっかけとして公民館利用者を増やす。また、継続的な学習への発展、自主的な学習グループ等への支援により生涯学習の振興を図る。		